

市町村名		糸満市				
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-	沖縄らしい風景づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工	
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。					
効果発現年度	当年度 後年度(R2 年度)					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)
		(a)当初予算額	58,771	97,416	-	21,456
	(b)予算現額	55,948	82,865	-	21,445	
	(c)増減額(b-a)	2,823	14,551	-	11	0
	(d)繰越額	0	0	7,032		4,687
	A.計(b+d)	55,948	82,865	7,032	21,445	4,687
	B.執行済額	55,315	75,833	3,970	12,520	4,687
	うち交付金充当額	44,252	60,666	3,176	10,016	3,750
	次年度繰越額	0	7,032	0	4,687	
	執行率(%) (B/A)	98.9%	91.5%	56.5%	58.4%	100.0%
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 重点地区助成金において、当初予定の3件に対し、1件に留まった。 重点地区施設整備工事(1工区)において、景観配慮型の横断防止柵が受注生産となり、当初予定していた工期内の生産が間に合わないことから工期延長をし繰越となった。 					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況			
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	重点地区実施設計	目標	()	()	()	(実施)
		実績				実施
	重点地区施設整備工事(1工区)	目標	()	()	()	((1工区)実施)
		実績				(1工区)実施
	重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る工事の助成金)	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)
		実績	実施	実施	実施	実施
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 重点地区実施設計を行った。 重点地区施設整備工事(1工区)を実施した。 重点地区景観形成への支援を実施した。 					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値 (年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R3年度)
	重点地区実施設計	目標		()	()	()	(完了)
実績						完了	
重点地区施設整備工事(1工区)	目標		()	()	()	((1工区)完了)	()
	実績					(1工区)完了	
助成金による景観整備の完了	目標		()	(6件)	(7件)	(3件)	()
	実績			2件	4件	1件	
【R3成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標		()	()	()	()	(80%以上)
	実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 重点地区実施設計を完了した。 重点地区施設整備工事(1工区)を完了した。 重点地区景観形成への支援として1件の支援を実施した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・重点地区施設整備工事(1工区)において、景観配慮型の横断防止柵について、受注生産となり、当初予定していた工期内の生産が間に合わないことから工期延長をし繰越となった。	工事の進捗に影響が出ないよう、工程管理を行う必要があることから、施行上の問題点の確認など、現場状況のより詳細な把握に努める。
今後の取り組み方針		
今後は、重点地区施設整備工事(1工区)に引き続き、2工区、3工区についても重点地区施設整備工事を進めていき、観光地としてのさらなる魅力向上を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,208	17,208	13,766	3,442	0



資金の流し、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はこれまでの本市の風景づくりを理解し、かつ指名競争入札において落札した実績から妥当であると考えられる。 ○景観形成助成金の受益者は5割を負担しており負担関係は妥当であった。 ○費用、使途については取組検証結果からも、事業目的に沿った様相を示していると判断できることから、概ね計画通りに推進できているため適正であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

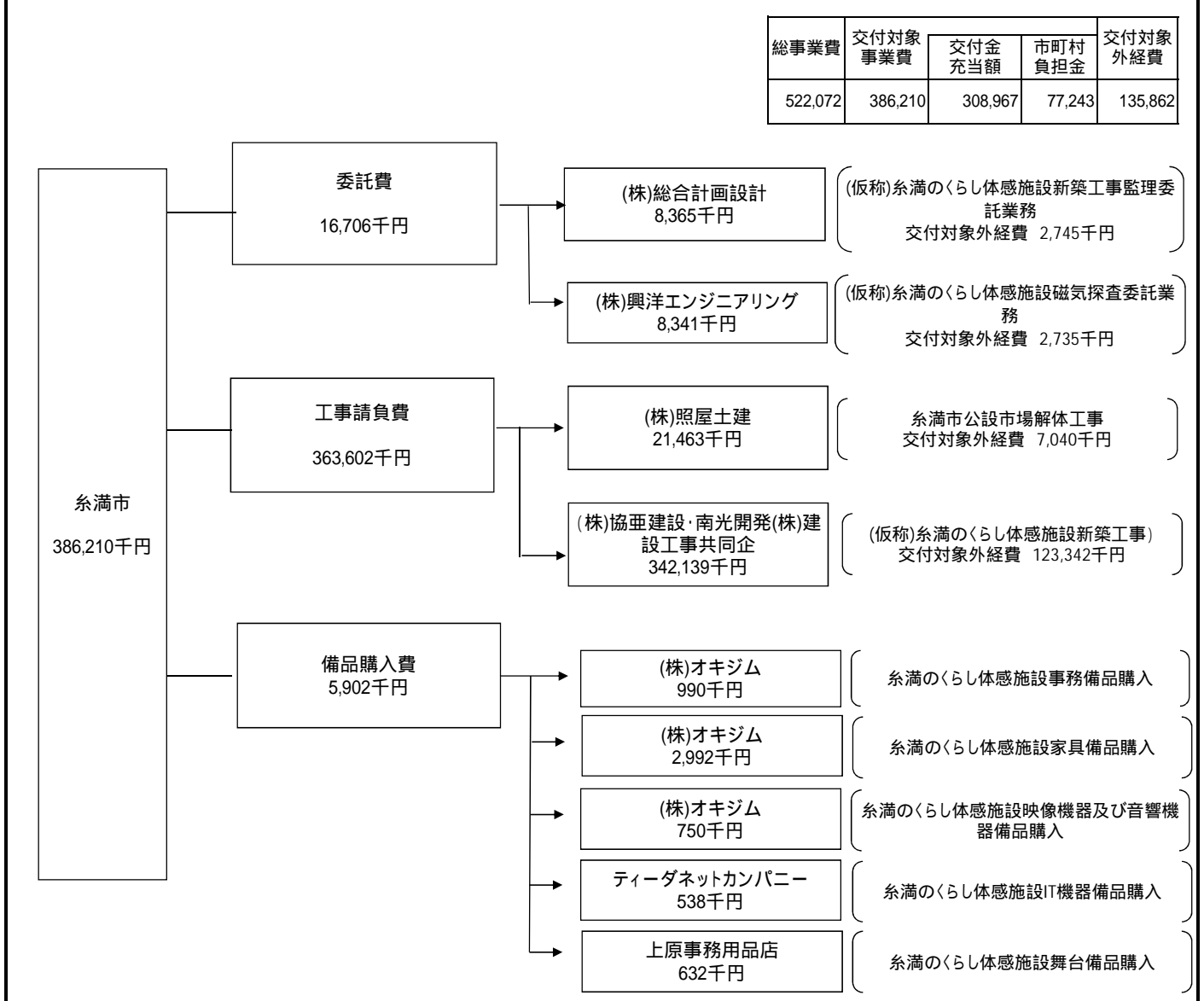
市町村名		糸満市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	糸満のくらし体感施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	経済部 商工水産課	事業実施(予定)年度	平成27～平成30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	本市を訪れる観光客が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。						
効果発現年度	当年度		後年度(令和2年度)				
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
		(a)当初予算額	21,633	-	338,750		
		(b)予算現額	24,536	-	388,702		
		(c)増減額(b-a)	2,903	-	49,952	0	0
		(d)繰越額	-	13,579		382,059	
	A.計(b+d)		24,536	13,579	388,702	382,059	0
	B.執行済額		10,957	13,100	6,643	379,567	
	うち交付金充当額		8,765	10,480	5,314	303,653	
	次年度繰越額		13,579	0	382,059		
	執行率(%) (B/A)		44.7%	96.5%	1.7%	99.3%	
予算の状況の説明		入札不調により、設計金額の見直しをしたところ、49,952千円の増額となった。また、不測の日数を要したことから、382,059千円を繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・磁気探査 ・工事監理 ・施設整備工事の実施	目標	(実施設計の完了)	(磁気探査 ・工事監理 ・施設整備工事)	()	()	
		実績	実施設計の完了	完了			
	・備品購入の実施	目標	()	(備品購入の実施)	()	()	
実績			完了				
達成状況説明	平成29年度にて実施設計を完了し、平成30年度予算にて建築工事及び備品購入を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(27年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	・糸満のくらし体感施設整備工事の完了 ・備品購入の完了	目標	(0棟)	(設計完了)	(1棟)	()	()
		実績		完了	1棟		
	糸満のくらし体感施設の来場者数	目標	()	()	()	()	(11万人)
		実績					
進捗状況説明	糸満のくらし体感施設について令和2年3月に建設工事が完了しており、令和2年4月より開業している。4月からの供用開始に伴い、令和2年度は11万人の来場者を目標値にしている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(糸満のくらし体感施設の建設) ・施設の完成により市外、県外への糸満のくらしをPRする場所が確保されたことから、今後この施設の有効活用に向け、広報等の強化に力を入れる必要がある。	(糸満のくらし体感施設の建設) 糸満のくらしを発信する場所が完成したことから、施設を利用してイベント等を行っていき魅力を高める施策を講じる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて観光客が減っているが、今後は観光客が再び増えるよう情報発信を積極的に行っていく。

今後の取り組み方針

(糸満のくらし体感施設の来場者数)
・令和2年度から民間事業者へ施設管理委託を行っているため、官民が連携イベント開催やSNS等による情報発信を実施し、継続的にPR活動を行う。
・観光業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため、糸満のくらし体感施設においても観光情報の発信を積極的に行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	備品購入費は指名競争入札及び見積もり合わせにより実施しており、妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	予算規模については不用額は2,492円であり、適正な規模であったと考えている。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名		糸満市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	省エネ設備化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進	
事業内容	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。						
効果発現年度	当年度		後年度(H31年度)				
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	
		(a)当初予算額	66,684	10,800	-	2,139	-
		(b)予算現額	66,684	266,133		49,861	-
		(c)増減額(b-a)	0	255,333		47,722	-
		(d)繰越額	0	0	255,377	-	31,501
	A.計(b+d)		66,684	266,133	255,377	49,861	31,501
	B.執行済額		40,500	10,756	190,786	18,360	25,434
	うち交付金充当額		32,400	8,604	152,629	14,688	20,347
	次年度繰越額		0	255,377	0	31,501	-
	執行率(%) (B/A)		60.7%	4.0%	74.7%	36.8%	80.7%
予算の状況の説明		不用額6,067千円は、入札残を現場照査後の変更財源として確保していたが、設計変更が生じなかったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	西崎プールボイラー省エネ化実施設計の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	完了				
	西崎プールボイラー省エネ化整備工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
実績		完了					
達成状況説明	西崎プールボイラー省エネ化の実施設計及び工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	・西崎プールボイラー省エネ化実施設計委託業務の完了 ・西崎プールボイラー省エネ化整備工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【参考指標】 西崎運動公園内ボイラー省エネ化によるCO2を年間約46,000kg削減	目標	()	()	()	()	(46,000kg)
		実績					
進捗状況説明	平成30年10月に実施設計が完了し、令和元年8月に整備工事が完了した。						

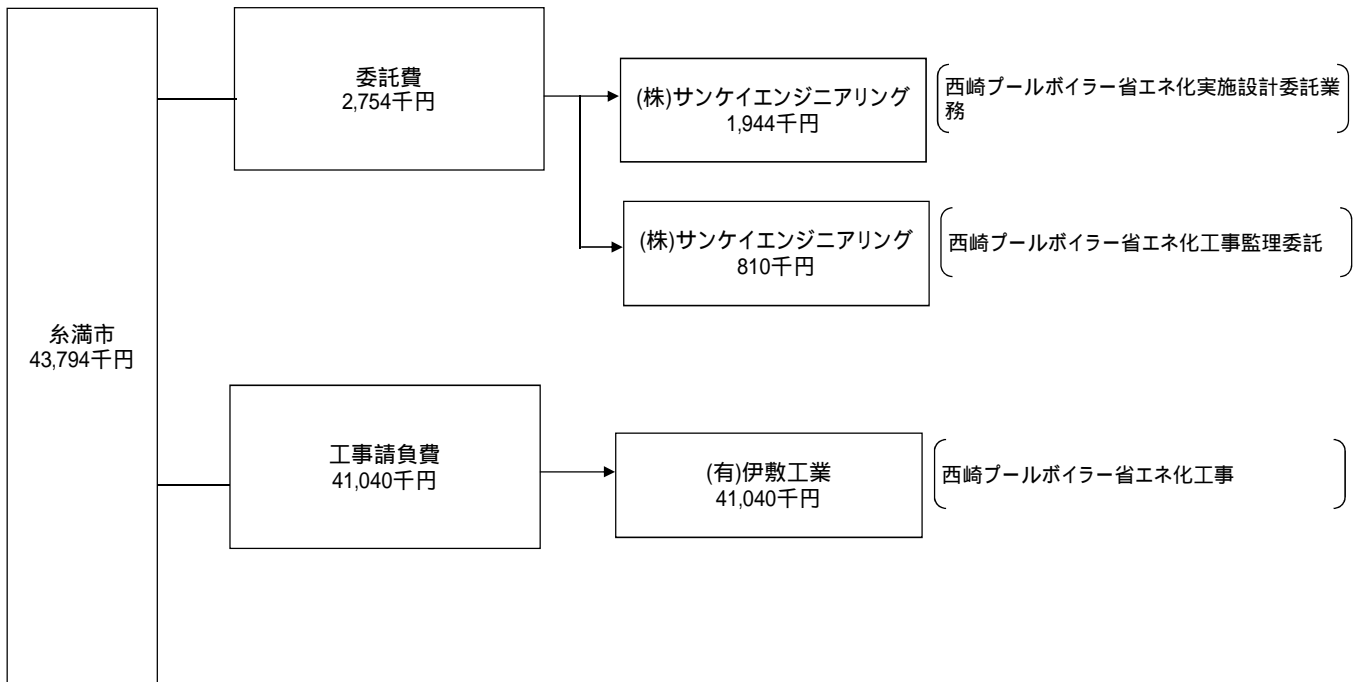
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・本市は、エネルギーパーク認定市として新エネルギーの活用及びCO2の削減に取り組んでいる。また、本市はアマチュアスポーツのメッカとして取組を行っており、その中心となる西崎運動公園内の施設を省エネ化することにより、本市の地域温暖化対策の取り組みを観光客、地元住民、他地域へのPRを行うことが出来るようになることから西崎プールにあるボイラー設備の省エネ化を実施した。</p>	<p>・省エネ設備を導入することにより、CO2の削減につながり、本市の地球温暖化対策の取り組みのPRにつながり、地域の付加価値を高めることに繋がるものである。</p> <p>・西崎運動公園施設が省エネ化されたことのPR方法を検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・今後、西崎運動公園施設の公共設備が省エネ化されたことをPRする必要がある。例えば、西崎プールボイラー設備が従来の設備から省エネ化されていることをPRする為の看板設置、本市ホームページ掲載などを検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,794	43,794	35,035	8,759	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	請負業者を指名競争入札により決定しており、妥当であると考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	請負額は適当であり、委託契約がしっかり行える落札率だと考えられる。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目等は委託業務完了時に検査を実施しており、その段階で精査も行っているので妥当であったと判断出来る。